

図書館の「いま」がわかる！新しい動きの「文脈」がわかる！

# カレントアウェアネス・ポータル

<http://current.ndl.go.jp/> & Twitter @ca\_tweet

国立国会図書館が運営するウェブサイト「カレントアウェアネス・ポータル」では、大きく変化しつつある国内外の図書館界、情報社会の動きを、「よりはやく」「よりわかりやすく」「より使いやすく」お届けしています。

目標は「図書館界の(ほぼ)すべてがここでわかる！」といえる情報ポータルになること。図書館界のことをもっと知りたい皆様のお役に立てるよう、国内外の図書館および図書館情報学に関する情報を、毎日発信しています。そしてそのすべてをアーカイブし、いつでも手軽にご覧いただけるようにしています。掲載コンテンツは、当館刊行物の『カレントアウェアネス』(季刊)、メールマガジン『カレントアウェアネス-E』(隔週)、調査研究の報告書である『図書館調査研究レポート』や『図書館研究シリーズ』、そしてニュース速報ブログ「カレントアウェアネス-R」(日々更新)です。更新情報はRSSやTwitterでも配信しています。

## 図書館界の「いま」をお伝えします ニュース速報ブログ 「カレントアウェアネス-R」

日々報じられる国内外の図書館界・関連業界のニュースを、速報でお伝えしています。情報源もすべて明記リンクでたどることができるようにしています。手軽にニュースをキャッチするツールとして、さらに深く情報を集めるツールとして、お使いいただけます。

## 話題のニュースを隔週でお知らせします メールマガジン 『カレントアウェアネス-E』

図書館界の最新動向をコンパクトにまとめ、毎月2回(原則)配信しています。興味深いプロジェクトや報告書の紹介から、政策や法律の動向、インターネットの最新技術まで、多種多様な話題をお伝えします。メールアドレスをお持ちであればお申込みいただけます。また、配信と同時に全文を「カレントアウェアネス・ポータル」に掲載しています。  
★配信登録  
<http://current.ndl.go.jp/cae/haishin>

## 注目のトピックを専門家が解説します 季刊誌 『カレントアウェアネス』

図書館および図書館情報学における国内外の近年の動向やトピックの解説を、年4回(3, 6, 9, 12月)情報誌として刊行しています。図書館情報学の研究者と現場の図書館員が、「詳しく」「わかりやすく」解説します。発行後すぐに全文を「カレントアウェアネス・ポータル」に掲載しています。また、日本図書館協会より発売もされています(税抜400円)。

世界的な文脈の中に置かれる図書館界の状況をわかりやすくお伝えできるような、そして図書館の可能性を感じていただけるようなサイト作りを目指していきますので、ぜひご一読ください。ご感想、ご意見もお待ちしております。



# 図書館調査研究の報告書

国立国会図書館では、社会の変化に伴う図書館利用者のニーズの多様化や情報通信技術等の進歩に対応し、図書館業務の改善に資することを目的として、図書館及び図書館情報学分野における調査・研究活動を行い、『図書館調査研究レポート』等の報告書をもって成果を発表しています。

## 図書館調査研究レポート No.1～No.16

国立国会図書館が実施している調査・研究活動の成果報告書です。

国立国会図書館のウェブサイト「カレントアウェアネス・ポータル」で、全文（HTML版、PDF版）をご覧ください。

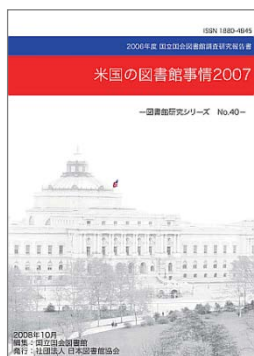


- No.1 デジタル環境下における視覚障害者等図書館サービスの海外動向(2003.8)
- No.2 電子情報環境下における科学技術情報の蓄積・流通の在り方に関する調査研究（平成15年度調査研究）(2004.7)
- No.3 図書館職員を対象とする研修の海外の状況調査(2004.7)
- No.4 電子情報環境下における科学技術情報の蓄積・流通の在り方に関する調査研究（平成16年度調査研究）(2005.8)
- No.5 図書館職員を対象とする研修の国内状況調査(2005.8)
- No.6 パッケージ系電子出版物の長期的な再生可能性について(2006.3)
- No.7 蔵書評価に関する調査研究(2006.7)
- No.8 国立国会図書館所蔵和図書（1950～1999年刊）の劣化調査報告(2008.3)
- No.9 地域資料に関する調査研究(2008.3)
- No.10 子どもの情報行動に関する調査研究(2008.6)
- No.11 電子書籍の流通・利用・保存に関する調査研究(2009.3)
- No.12 中国国家図書館の現況(2010.11)
- No.13 東日本大震災と図書館(2012.3)
- No.14 日本の図書館におけるレファレンスサービスの課題と展望(2013.3)
- No.15 地域活性化志向の公共図書館における経営に関する調査研究(2014.3)
- No.16 超高齢社会と図書館～生きがいつくりから認知症支援まで～(2017.3)

## 図書館研究シリーズ No.38, No.39, No.40

国立国会図書館が実施している調査・研究活動及びシンポジウム・セミナー等の論集です。

国立国会図書館のウェブサイト「カレントアウェアネス・ポータル」で、全文（HTML版、PDF版）をご覧ください。



- No.38 デジタル環境下におけるILL，ドキュメント・デリバリーとその運用基盤 (2005.11)  
発行：(社)日本図書館協会 213p. 税込2,100円
- No.39 スマトラ沖地震・津波による文書遺産の被災と復興支援  
—平成17年度国立国会図書館公開セミナー記録集— (2006.9)  
発行：(社)日本図書館協会 134p. 税込2,310円
- No.40 米国の図書館事情2007  
—2006年度 国立国会図書館調査研究報告書— (2008.10)  
発行：(社)日本図書館協会 365p. 税込3,255円

国立国会図書館関西館 図書館協力課 調査情報係

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

TEL：(0774)98-1449 (直通) FAX：(0774)94-9117

E-mail：chojo@ndl.go.jp

(@は半角に直してください)